

G空間情報プロジェクトの推進について

凡例: 楕円塗りつぶしは実証事業施策

2020年(平成32年度)～東京オリンピック・パラリンピック開催～

G空間プラットフォームの民間開放による
G空間情報を活用した様々なサービスの創出の促進

迅速な基盤地図情報・電子国土基本図の
更新、ニーズを踏まえた質の高い整備・提供

自治体等におけるオープンデータの普及拡大、
オープンデータ活用による様々なサービスの創出

総合防災情報システムの活用による
災害対応・情報共有の推進

G空間防災システムの全国の自治体への
普及・展開

収集するプローブ情報の
増加に対応した交通状況の更なる
把握・提供

観測衛星観測データの
迅速かつ高頻度な提供による
効果的な防災・減災活動への
貢献

きめ細やかな作業機の
制御と自動走行とを
組み合わせた
スマート農業システムの実現

東京オリンピック・パラリンピックを契機に
オープンデータ環境下における歩行者移動
支援サービス等の新たなサービスの全国的な普及・展開

一層高度な
G空間×ICT利活用モデルの
全国的な普及による経済再興
への貢献

国際的なスケールで構想できる
人材育成による宇宙インフラを利用した
防災・交通等重要な社会基盤サービス
の効率的な実現

超高分解能合成開口レーダの
開発結果の活用等による
宇宙インフラの輸出の実現

2018年(平成30年度)～実用準天頂衛星4機体制へ～

基盤地図情報・電子国土基本図の
国土管理、防災対策等に重要な
地理空間情報を整備・更新

公共データの民間開放や社会での
効果的な利活用に向けた環境の整備、
必要なツールの開発やルールの策定等

総合防災情報システム他機関システムとの連携強化
及びインターネット活用による防災情報提供

G空間情報センターを活用した
より高度な防災システム構築に向けた
社会実証

国土交通省関連の情報を集約する
電子防災情報システムの構築による
災害対応の実施

警察の交通情報と
民間プローブ情報とを
融合するシステム及び
バックアップ装置の運用

陸域観測技術衛星
「だいち2号」による
観測データを速やかに
提供する体制の構築

消防援助隊情報の
システム更改及び
対応可能なヘリコプター
整備の拡大

準天頂衛星測位等を
活用した自律走行の
要素技術の開発、
耕うん～収穫の一連の農作業を
体系的に行う実証、
経済性の評価等

民間事業者が中心となって
準天頂衛星、3次元地図、ビッグデータ等
を利用した革新的なサービス
の普及・展開

歩行者移動支援サービスにおける
共通的な利用ルールの策定や
低コスト化のための技術開発

準天頂衛星の4機体制の整備を睨んだ
G空間情報活用地域活性化
サービス等の実証の実施

アジア/太平洋地域の対象国における
高精度測位によるナビゲーションシステム等の
実現可能性調査及び実証

具体的な海外展開戦略の
策定等による我が国の宇宙インフラシステム
の海外展開支援

陸域観測技術衛星「だいち2号」等の
観測データの開発途上国を中心とした諸外国の
関係機関への提供

超高分解能合成開口レーダの製造、
試験、及び軌道上実証

平成26年度補正予算及び平成27年度政府予算関連 主要施策

平成28年度からの本格運用に向けた
G空間プラットフォームの開発・検証
G空間情報センターの規約・ルール案の整備

基盤地図情報・電子国土基本図の
国土管理、防災対策等に重要な
地理空間情報を整備・更新

情報流通連携基盤の高度化
推進及び仕様の確立
公共データ、民間データを連携した新産業
新サービスの創出の環境整備

G空間防災システムと
Lアラートの連携推進

総合防災情報システム
他機関システムとの連携強化

消防援助隊情報のシステム及び
ヘリコプター動態管理システムの運用

電子防災情報システムの
活用による災害対応の実施

警察の交通情報と
民間プローブ情報とを融合する
システムの運用

陸域観測技術衛星
「だいち2号」の運用及び
気候変動観測衛星の開発継続、
先進光学衛星の開発着手

ロボット技術について
まとまった規模・地区での導入を
支援し、生産性向上等の
メリットを実証

東京駅周辺での空間情報
インフラの整備及び利活用実証

地域活性化に資する
G空間情報の活用実証を実施

公共交通システムの
高度化に関する技術開発

ICTを活用した
歩行者移動支援の推進

衛星の災害関連情報の共有等、
アジア・太平洋地域の災害管理への貢献に
資する我が国主導の国際協力プロジェクトの推進

超高分解能合成開口レーダ
の製造、試験

宇宙インフラを活用した
海外展開について
対象分野を対象国を増やし
戦略的な海外展開を推進

アジア/太平洋地域における
準天頂衛星の高精度測位
サービス実証事業
【経済産業省】

宇宙開発利用の
発展を支える人材育成

平成25年度補正予算及び平成26年度政府予算関連 主要施策

G空間プラットフォームの具体的な機能
(検索、入手等)について開発実証
「経済の再生」「防災・減災」のサービス実証
品質表示に関する運用ルール案作成

「オープンデータ化ガイド」の改訂
オープンデータを活用したアイデアや
ビジネス化支援の枠組み構築

山間部や過疎地等における
豪雨・洪水の迅速把握及び
情報伝達の実証事業

刻々と変化する被災状況や
応急対応状況等を分析・表示する
電子防災情報システムの整備

都市災害時の地下街等
閉鎖空間における
情報伝達の実証事業

移動者向け
災害情報提供社会実証

波浪計データ等を利用した
津波等の災害予測及び
情報伝達の実証事業

山岳遭難防止
対策モデル構築社会実証

陸域観測技術衛星
「だいち2号」打ち上げ
(平成26年5月24日)

自動走行トラクター等の
ほ場における
農作業(耕うん、代かき、
田植え、収穫)の実証実験

高精度測位やビッグデータを
活用したネットワークロボット
に関する実証事業

3次元地図を活用した
バリアフリーナビの
実現に関する実証事業

G空間シェアリング「モビリティ」
による都心活性化社会実証

「センチネルアジア」のさらなる発展等のため
国際的なタスクフォース設置に向けた関係国への呼びかけ

超高分解能合成開口レーダ
の小型化技術研究開発

宇宙インフラを活用した
防災システムの海外展開について、
ASEANやブラジルと調整開始

アジア/太平洋地域における
準天頂衛星の高精度測位
サービス実証事業

準天頂衛星を活用した
高精度測位の海外展開について、
豪州等での実証実験

G空間情報センター構築 (基盤情報整備、オープンデータ連携など)

防災システムの構築 (屋内外避難誘導などを含む)

IT農林水産業の構築

地域活性化 (観光、安全安心なまちづくりなど)

海外展開